

第27回全国交歓大会团体ゲーム堂々準優勝!!!

第27回全国グラウンド・ゴルフ交歓大阪府大会が全国から1,728名のプレーヤーが参加し、9月6日(土)~7日(日)に大阪府堺市のJ-グリーン堺で開催されました。島根県からは、これまでで最も多い男性32名、女性10名の総勢42名が参加しました。大会当日は天候が心配されましたが、晴天のもと準備の行き届いた天然芝サッカーフィールドを会場として、和やかに交流を楽しみながら大会が行われました。

日本有数のサッカーフィールドのコースに島根県のプレーヤーの意気はますます高揚し、ホールインワンを2本出すプレーヤーが続出しました。その結果として、団体ゲームでは島根県チーム(春日茂(湖陵)、高吉靖(江津)、中林誠(加茂)、



市場勇(加茂)、成相卓雄(出雲支部)、日野勝己(加茂))は219打の成績をあげ、215

打の山梨県チームに続いて過去最高の準優勝に輝きました。また、個人 ゲームでは30打で市場勇さんがDグループ5位に入賞を果たしました。

日本協会園山和夫副会長と

さらに、第4回標語・川柳コンクールの入賞作品の表彰が開会式場で行われましたが、出雲支部協会の築森寛喜さんの標語「素敵です そのプレーそのマナー その元気が」が見事入賞しました。

実に晴れがましい大会となりました。皆様のご協力ありがとうございました。 来年の山形県大会にも奮ってご参加いただきますようお願いいたします。





島根県グラウンド・ゴルフ協会

〒699-0825 島根県出雲市神西新町49 事務局 中尾 允 TEL(0853)43-8833 FAX(0853)43-8833

新しく生まれ変わった島根県グラウンド・ゴルフ協会

会長 倉井 毅

昭和62年に発足以来、会員各位、歴代役員の皆様に支えられながら会長の職を続けています。いく度も 交代の時期ではないかと申し出ておりますが、許しをいただけないまま今日を迎えております。

さて、今年、島根県協会は画期的な改革をして新たなスタートを切りました。その中身を一部紹介します。 発足以来20年余、4,500人余の会員を数える大組織になり、大雑把な会則では対応が困難になったことから、 細部まで明確にした会則に改正しました。

その中で、画期的なことは「会費」の徴収であります。20数年、会費無しでよくぞ運営できたものだと思われるかと思いますが、そのしわ寄せは役員の皆様の犠牲によって成り立ってきました。県協会の財政基盤の強化と役員の負担を軽減するための「会費」でありますことをご理解いただきたく思います。会費徴収によって会員が減少するのではないかと心配しましたが、その影響は限定的なものであり、加盟団体と会員各位のご理解によるものと感謝申しあげます。

財政基盤の強化に伴い、全国大会や中国大会に参加される会員に参加費助成を行います。また、県協会の役員の負担を軽減するために大会や会議の開催場所までの移動距離によって交通費や宿泊費を支給することにしました。このことにより隠岐からも益田からも気兼ねなく会議にお出掛けいただくことが出来るようになりました。

組織も県内を8ブロックに分けて連絡調整が円滑に行われるようにしました。ブロック内に理事、評議員による連絡協議会を置くこととしました。また、各理事は4つの専門委員会に所属し責任分担を明確にしました。 評議員も加盟団体1名とし、評議員会を総会に再編しました。

さらに、会員を増やすことと同時に女性会員の増強、隠岐の会員増加を目指し、そのためにレディス大会を 開催するほか、近い将来隠岐での交歓大会の開催を目指します。

いずれにしても会員各位のご期待に応えるべく、新生島根県グラウンド・ゴルフ協会は役員一丸となって諸 活動に取り組んで参りますので、加盟団体、会員各位のご理解とご支援を戴きますようお願いいたします。

平成26年度総会開催!

去る2月25日 (火)、出雲市で、評議員と執行部の41名が出席し、平成26年度の総会を開催しました。当日は、出雲支部協会の築森寛喜評議員を議長に選出し、平成26年度の事業計画案・予算案・役員選出等について審議・報告が行われ、審議事項・報告事項とも原案通り可決・承認されました。





大会用ユニフォームの制定について

ユニフォーム選定委員長 森山 益吉

平成26年4月11に開催しました臨時総務会において、島根県プレーヤーの大会ユニフォームの制定を目指し、「ユニフォーム選定委員会」を設置することとし、次の委員を選出しました。

委員長: 森山益吉(副会長)

委員:春日茂(大会委員長)、千原昭保(大会委員)、和田勝代(レディス委員長)、田原智恵子(レディス委員)、中尾允(事務局長)全国大会・中国大会に参加すると、他県のプレーヤーは少し目立つお揃いのユニフォームを着用しています。それを目にした島根県のプレーヤーは悔しい思いをしてきました。「何とか全員同じものをそろって着ることはできないでしょうか?」など、多くの大会参加者からそんな声を聞いてまいりました。しかし、参加枠の人数もそろわないのに統一ユニフォームの着用を課すことは県協会の力では出来ませんでした。また、県協会が参加者全員分を揃えるには財政上無理があり、かといって個人負担をしてもらうほど組織が成熟していませでした。

ところが、本年度、県協会の規約を改正し、県協会の運営体制の強化を図りました。その結果によるものかどうか確かではありませんが、今年度の中国地区や全国大会の参加希望 者はこれまでになく多くなり、大会によっては、参加を制限するほど

になりました。

この機会に、中国大会・全国大会及び来年度から公開競技となる 国体の参加者に、原則としてユニフォームの着用を義務付けたいと、 この委員会を発足させました。

今のユニフォームの出来た経緯も考慮し、新感覚で参加者全員が 着ることが楽しいデザイン・カラーを考え、2回の委員会を経て基 本的なデザインを決めました。今後、多くの意見にさらし、理事会 等の議を経たうえで、購入希望調査を実施し、発注を行い、来年の 中国地区大会からユニフォームの着用を目指したいと考えています。



島根県グラウシド・ゴルフ協会の規約の改正について

本協会の規約は、平成2年4月1日に制定・施行され、平成20年4月1日に一部改正されました。しかし、本協会を取り巻く情勢は大きく変化したことから、組織の強化、事業の円滑かつ効率的な遂行等を目的とし、平成25年11月8日付で規約の全面的な見直しを行いました。その主な改正点は、次のとおりです。また、旅費規程と慶弔規程を新しく制定しました。詳しいことは、所属団体の事務局にお問い合わせ下さい。

- 1. 本協会は、県内のグラウンド・ゴルフ界を統括し、これを代表する団体であることを明記しました。
- 2. 本協会の登録団体は、本協会の目的に賛同して入会した団体としておりましたが、旧市町村を代表する団体 (旧市町毎に1団体) としました。
- 3. 事務局次長若干名、名誉会長1名を置くことができるとしました。
- 4. 理事は、各ブロック1名のほか、会員数に基づいて追加選出するとしました。また、会長は若干名の理事を指名できると明記しました。
- 5. 評議員の数は、若干名としておりましたが、登録団体から各1名選出としました。これにともない、評議員会を総会に再編しました。
- 6. 事業遂行の調整等を行うため、会長・副会長・委員長・事務局長で構成する総務会を設けました。
- 7. 事業を推進するため、4つの専門委員会(普及指導員育成委員会、大会委員会、広報委員会、レディス委員会)を新設しました。
- 8 ブロック内の連絡調整を円滑に行うため、本協会の管轄管内を8ブロック(安来、松江、出雲、雲南、大田・邑智、江津・浜田、益田、隠岐)に分割し、当該ブロックの理事と評議員で構成するブロック連絡協議会を設けました。また、ブロックに代表者を置くことを明記しました。
- 9 本協会の会費は、旧規約では当分の間徴収を免除するとしておりましたが、財務基盤を強化するため、年額 1人500円とし、日本協会の会費と併せて納めるとしました。

平成26年度・27年度島根県協会の役員の選出について

平成26年度・27年度島根県グラウンド・ゴルフ協会の役員は、次のとおり選出されました。また、日本協会の役員については、倉井毅会長が理事に、春日茂理事がルール等委員会委員にそれぞれ就任されました。

平成26年度・27年度島根県グラウンド・ゴルフ協会役員名簿

役 職	氏 名	備考
会 長	倉井 毅	
副会長	藤間 元康	普及指導員育成委員
副五区	森山 益吉	出雲ブロック代表者、普及指導員育成委員
事務局長	中尾 允	
	野坂 茂	安来ブロック代表者、大会委員
	小藤 貢	広報委員
	中村 幸雄	松江ブロック代表者、普及指導員育成委員長
	足立 璋光	広報委員長
理事	三島武	大会委員
上 年	瀬崎 千年	広報委員
	藤井 晃代	レディス委員
	春日 茂	大会委員長
	門脇要治	大会委員
	田原智恵子	レディス委員

役	職	氏 名	備考
		千原 昭保	雲南ブロック代表者、大会委員
		内田 孝幸	広報委員
		安田 幸夫	大田邑智ブロック代表者、広報委員
		井原 次徳	大会委員
理	事	和田 勝代	レディス委員長
		城山 勝吉	江津浜田ブロック代表者、広報委員
		吾郷 勉	大会委員
		澄川裕美子	益田ブロック代表者、レディス委員
		藤田 節雄	隠岐ブロック代表者、大会委員
監	事	森脇 宏	
≕	₽	出雲定	
顧	問	原田 祐次	
相貝		高木 久子	

平成26年度登録団体役員名簿

団 体 名	代 表 者	事務担当者	評議員
安来協会	金山喜次夫	宮本 薫	福島 清
広瀬町協会	瀧 正夫	岩田 拓郎	川井 洋一
伯太町協会	西奥 浩子	後藤 尚男	小松原寛美
松江市協会	富永 利典	足立 祐二	足立 祐二
鹿島町協会	井上善一郎	権田 宏	井上 登
美保関町協会	山本 紀二	仁宮 雄二	仁宮 雄二
八雲町協会	澤田隆吉	水野 静二	水野 静二
玉湯体協GG部	村竹 秀男	伊藤 薫	安達 敏弘
宍道町協会	八幡 登	高橋 美雄	高橋 美雄
八束町協会	足立 璋光	奈良井義久	門脇 正志
東出雲町協会	越野 久茂	三島武	吉儀 明弘
出雲支部協会	柳楽 芳快	三浦 美登	築森 寛喜
平田連盟	遠藤 栄	岡 俊文	遠藤 栄
佐田町協会	和田 喜充	杉本 稔	丹後 一之
多伎町協会	石飛 知伸	川瀬登志夫	川瀬登志夫
湖陵町協会	野津 良知	春日 茂	坂根 一好
大社町協会	松本 俊憲	前島 力	前島清一
斐川町協会	長安 弘道	森廣 康世	長安 弘道
加茂町協会	舟木 清	中林 誠	中林 誠
大東協会	工藤 保治	田中達也	坂本 大蔵
木次協会	福間 國夫	大坂 潔	高橋 治男
三刀屋町協会	佐藤 孝吉	加本 勝	加本 勝
かけやGGC	茂富勉	茂富勉	茂富勉
仁多協会	佐藤(慎一	稲田 栄之	稲田 栄之

団 体 名	代 表 者	事務担当者	評議員
横田町協会	荒井 昌洋	吉田勉	荒井 昌洋
頓原GGC	杉本 政良	杉本 政良	杉本 政良
赤名同好会	三上 和人	高橋 謙二	高橋 謙二
大田市協会	前田 正雄	安田 幸夫	小田 弘治
不言寿C	山中 一好	山中 一好	山中 一好
仁摩町協会	藤間 元康	田中 利明	田中 利明
川本町協会	前田 隆人	前田 隆人	前田 隆人
邑智町協会	野田 寛之	原 清則	原 清則
大和同好会	井原 希江	井原 次徳	中原 京子
瑞穂愛好会	野田 修喜	品川 忠道	竹辺 正人
はすみ連盟	戸田 淳	三好 巌	荒砂 良明
邑南町石見協会	山崎一憲	柘植 三義	柘植 三義
江津市協会	田中康喜	浅田 覺	高吉 靖
桜江町協会	松本 文男	山藤 正弘	山口 忠幸
浜田市協会	須山 隆	屋敷 國博	屋敷 國博
金城町協会	藤若 早男	隅田 正三	隅田 正三
旭町連合同好会	山本 丈士	益本 安人	山本 丈士
益田市協会	大久保五郎	澄川裕美子	大久保五郎
吉賀町協会	澄川 忠男	村上 勝史	村上 勝史
津和野町連盟	庵野 寿一	安見 隆義	庵野 寿一
隠岐の島町協会	藤田 節雄	重栖 衛	下澤 君江
海士町協会	石倉 郁郎	神宅 寿昭	神宅 寿昭
西ノ島町協会	中浜 堯介	徳若 安則	中浜 堯介
知夫村協会	仲 克忠	崎 秀政	崎 秀政

会員増加にご協力を!

平成26年度の本協会の会員数は、4.300名となり、平成25年度に比べ455名の減少となりました。

日本協会が平成18年度と19年度に実施しました退会に関する調査結果によりますと、退会の主な理由としては、会員の高齢化・病気、人間関係があげられておりますが、本協会の本年度の大幅な会員減少は、そのほかに会費500円を新たに徴収したこともあると考えられます。会員に負担をかける会費の徴収は、消費税率のアップ・年金の減額等々の高齢者を取り巻く社会情勢を考えると、実施すべきではないとの意見もありましたが、本協会の健全な運営のためには必要と判断しましたので、ご理解とご協力をお願いします。

平成25年度の登録会員に占める女性会員の比率をみますと、日本協会では39%であるのに対し、本県協会では34%となっており、本県は全国平均より女性会員の比率が低い状況にあります。このことは、本協会の取り組みによっては、女性会員が増える可能性があるとも考えられます。そのようなことから、今回の規約改正ではレディス委員会を設置したほか、今年度から新たに島根県レディス交歓大会を開催することとしました。このレディス交歓大会は、参加者の交通手段を確保するために同伴者の部を設けたり、多数の賞品を準備するなど、女性が参加し易く、また、参加したくなるような大会を企画しております。

「数は力なり」ともいいますが、会員が多いほど協会の活力は向上します。役員一同、魅力ある協会運営に努めますので、会員の皆様には会員増加のための積極的な活動をお願います。

島根県グラウンド・ゴルフ協会登録団体別会員数の推移

日片夕		会 員 数	
団体名	H24年	H25年	H26年
安来協会	359	345	299
広瀬町協会	143	152	141
伯太町協会	82	81	75
松江市協会	355	348	303
鹿島町協会	102	103	91
美保関町協会	141	137	113
八雲町協会	83	81	83
玉湯体協GG部	102	88	34
宍道町協会	31	30	28
八束町協会	120	162	147
東出雲町協会	176	180	171
出雲支部協会	374	387	386
平田連盟	84	81	77
佐田町協会	18	16	16
多伎町協会	42	51	52
湖陵町協会	69	66	69
大社町協会	86	78	84
斐川町協会	259	272	253
加茂町協会	211	206	162
大東協会	132	130	113
木次協会	60	42	44
雲南市三刀屋町協会	47	41	37
かけやGGC	14	16	19
仁多協会	82	76	79

団体名		会 員 数	
四十二	H24年	H25年	H26年
横田町協会	102	100	92
頓原GGC	16	15	11
赤名同好会	15	15	15
大田市協会	230	255	224
不言寿S・Gクラブ	11	11	9
仁摩町協会	20	19	17
川本町協会	15	20	15
邑智町協会	27	35	27
大和同好会	21	21	19
瑞穂愛好会	11	12	9
はすみ連盟	42	42	38
邑南町石見協会	79	78	50
江津市協会	112	106	105
桜江町協会	141	147	123
浜田市協会	41	43	66
金城町協会	69	68	67
旭町連合同好会	77	64	42
益田市協会	262	284	294
吉賀町協会	30	30	30
津和野町連盟	18	15	17
隠岐の島町協会	75	71	57
海士町協会	62	60	25
西ノ島町協会	55	55	52
知夫村協会	20	20	20
合 計	4,723	4,755	4,300

ホールインワン基金

平成24年4月から平成25年12月までに本協会会計に入金されたホールインワン基金は、25団体より計1,017,149円でした。その結果、ホールインワン基金の積立額は、平成25年12月現在、2,562,019円となりました。皆様の善意に深く感謝します。この基金は、市町村社会福祉協議会に贈る福祉車両の購入資金として有効に活用する予定です。

ホールインワン基金一覧表

期 間: 平成 24 年 4 月~平成 25 年 12 月

団 体 名	大会数	基金(円)
安来協会	7	30,000
広瀬町協会	2	10,600
伯太町協会	10	8,000
松江市協会	7	46,800
鹿島町協会	2	10,300
美保関町協会	2	13,600
八雲町協会	8	42,600
東出雲町協会	8	14,000
出雲支部協会	4	95,151
今市同好会	1	24,600
大津町協会	1	9,700
川跡悠遊クラブ	1	23,800
出雲市協会	2	41,900

団 体 名	大 会 数	基金(円)
平田連盟	2	16,311
多伎町協会	4	3,500
大社町協会	4	4,900
斐川町協会	5	35,002
加茂町協会	4	21,000
大田市協会	1	19,280
江津市協会	8	25,600
桜江町協会	4	7,750
旭町連合同好会	12	14,100
益田市協会	53	412,008
海士町協会	5	12,300
島根県協会	5	74,347
合 計		1,017,149

専門委員会からのお知らせ

●普及指導員育成委員会●

委員長 中村幸雄

本年度の3級普及指導員養成講習会は10月9日(木)江津市で開催します。普及指導員の一般的認識は、以前の指導から最近は会員の模範となり他からあのような指導者になりたいと慕われるような指導者である事が望まれています。3級から2級、1級と順次任務と活動範囲が拡張されますが、まず3級資格の取得に挑戦しましょう。

●大会委員会●

委員長 春日 茂

大会委員の任務は、県大会・中国大会の企画運営と全国大会・中国大会への参加の推進があります。今年度から県大会の参加料に会員と非会員に差を付け、会員の優遇を図りました。また、全国大会・中国大会には少額ですが参加助成金を支給することとしました。積極的な大会参加をお願いいたします。

平成27年度は中国地区交歓大会の当番県となります。平成28年度の全国交歓大会の誘致を進めます。会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

●レディス委員会●

委員長 和田勝代

第1回島根県レディスグラウンド・ゴルフ交歓大会を、11月25日(火)に出雲ドームで開催します。この大会は、県内のグラウンド・ゴルフを愛好する女性の皆さんが一堂に会し、お互いの親睦を図りながら楽しい大会にしたいと思います。多数の参加をお待ちしております。

島根県協会オリジナルマーカー

島根県観光キャラクター「しまねっこ」をデザインした県協会のオリジナルマーカーを作製しました。全国大会で島根県協会と島根県観光のPRに活用します。



平成25年度大会結果

第44回島根県 交歓大会

- ●平成25年4月11日
- ◉江の川リバーサイドパーク
- ●439名

順位	チーム名	氏 名	打 数
1位	大田久手	田原 進	30(2)
2位	多伎町	桑原 保雄	34(2)
3位	浜田木曜C	原田 慧	36(1)
4位	桜江町	中曽和雄	36(1)
5位	桜江町	加藤三枝子	37(2)
6位	出雲高松	中湯 忠吉	37(1)
7位	江津	佐々木重博	38(2)
8位	江津浅利	上田 孝士	38(2)
9位	出雲おろち	森脇 宏	38(1)
10位	桜江町	村井 悦信	38(1)
11位	益田	大浴 哲之	38(1)
12位	江津敬川	和田 賢	38(1)
13位	出雲高松	福代 幸男	38(1)
14位	桜江町	加藤 哲	38(1)
15位	大東	千葉 貞夫	38(1)
16位	江津	柿谷 紀	39(2)
17位	大田中央	市原 輝幸	39(1)
18位	江津	川口 洋一	39(1)
19位	大田長久	森野 辰己	39(1)
20位	雲城	西谷 誠現	39(1)

第45回島根県 交歓大会

- ●平成25年10月1日
- ◉加茂中央公園多目的広場
- ●514名

順位	チーム名	氏 名	打 数
1位	加茂神原	高尾 真平	28(4)
2位	大東	芦田博明	32(2)
3位	大田長久	宇谷伊千郎	32(2)
4位	出雲おろち	原 幸男	34(2)
5位	加茂神原	中林 典子	34(1)
6位	加茂下神原	菊地 祥蔵	35(2)
7位	木次下熊谷	福間日朗子	35(2)
8位	出雲高松	伊藤 稔	35(1)
9位	大東	工藤 保治	37(2)
10位	大東	神庭 義宣	37(2)
11位	松江比津	松浦 政一	37(1)
12位	三刀屋	金山 進	37(1)
13位	出雲鳶巣	門脇美代子	38(2)
14位	八束入江	岩田 茂	38(1)
15位	島根町瀬崎	小川 清延	38(1)
16位	出雲高松	中湯 忠吉	38(1)
17位	広瀬	坂田ミヨシ	38(1)
18位	出雲塩冶	松原 雅宣	39(1)
19位	松江むつみ	黒田 義明	39(1)
20位	東出雲	野々内喜美子	39(1)

第25回島根県 健康福祉祭

- ●平成25年5月20日
- ◉出雲ドーム
- ●432名

順位	チーム名	氏 名	打 数
1位	美保関	野田隆義	24(3)
2位	伯太	小松原寛美	26(3)
3位	美保関	山本 儀市	26(3)
4位	八雲大明	石原 正	28(2)
5位	安来	天根 和男	28(2)
6位	桜江	梅谷 定治	28(2)
7位	大和GG	井原 次徳	29(2)
8位	平田	杉原 邦彦	30(3)
9位	出雲神西	桑原 徳郎	30(2)
10位	大田市	安田 幸夫	30(1)
11位	湖陵	今岡 幸枝	30(1)
12位	桜江	森脇 専二	31(2)
13位	大社	前島 力	31(2)
14位	広瀬	山崎 茂美	31(2)
15位	湖陵	柳楽 一敏	31(1)
16位	斐川	持田 隆	31(1)
17位	江津	城山 勝吉	31(1)
18位	邑南町石見	田村政信	32(2)
19位	ホールイン	松原 和枝	32(2)
20位	江津	田中康喜	32(1)

第15回島根県2級・3級 ●平成25年11月14日 ●出雲ドーム ● 614名

順位	チーム名	氏 名	打 数
1位	出雲今市	木村 圭子	21(4)
2位	斐川町	富田 保夫	22(3)
3位	横田町	矢野 照夫	24(3)
4位	出雲神西	高見 洋子	25(4)
5位	大田市	安田 幸夫	25(3)
6位	美郷町	坂本 勝弘	25(3)
7位	出雲川跡	山崎 孝夫	25(3)
8位	鹿島町	岸清	26(3)
9位	八東町	門脇 稔	26(3)
10位	加茂町	金森 巌	27(3)



||||||||||||| グラウンド・ゴルフの用語解説 |||||||||

グラウンド・ゴルフの用語については、グラウンド・ゴルフルールブック2011のP70~71に、次のように解説されています。また、日本協会の大会では、目的が「交流」「親善」等であるため、競技はプレー、競技者・選手はプレーヤーとし、ルールは「2011年ルール」や「現行ルール」などとしないで、「日本協会ルール」としていします。用語は正しく理解し、正しく使用しましょう。

ホール	1つのスタートマットとホールポストの組み合わせをいう。
コース	8ホール単位をいい、コースが複数ある場合には、「Aコース」「第1コース」「赤コース」など と任意の表現により表す。
ラウンド	1コース(8ホール)プレーすることをいい、ラウンドが複数ある場合には「第1ラウンド(1R)」 などと数字で表す。
ゲーム	1ラウンドにおけるゲームが時間別に複数ある場合は、「第1ゲーム(1G)」などと数字で表す。
グループ	同一コースでプレーするプレーヤー群をいい、グループが複数ある場合には、「Aグループ」 「第1グループ」「赤グループ」などと任意の表現で表す。
プレー	グラウンド・ゴルフを行う一連の運動
組	一緒にラウンドするプレーヤーの単位

クラブの厚み面でボールを打つプレーヤーを見ることがあります。日本協会は、用具の安全管理やプレーヤーの安全確保・事故防止の観点から、平成25年1月15日付で、「クラブヘッドのどこを使っ

て打ってもよい」から「ボールは、クラブヘッドの打面で打つこととし、ホールポストの近く、あるいは狭い場所などやむを得ない場合に限って、クラブヘッドのどこを使って打ってもよい」とクラブの使用方法を改正しました。ご理解のうえ安全なプレーを心がけて下さい。



編集後記

この度の県協会規約の改正によって、本協会の事業推進のための4つの専門委員会が設置されましたが、 広報委員会には6名の理事が選任され、広報と普及を担当する事になりました。

本号の発行にあたっては、委員会を2回開催し、掲載内容を検討しました。本号には新体制の役員、昨年度の大会結果、規約の改正、登録団体別会員数の推移などを掲載しました。また、ホールインワン基金は、本協会が地域貢献を行う大切な資金であることから、少し詳しく掲載しました。

協会の活動状況、ルールの変更など会員の皆様に役立つ情報 を掲載し、充実した広報誌にしたいと考えております。情報の 提供など皆様のご支援・ご協力をお願いし編集後記とします。

発行者島根県グラウンド・ゴルフ協会広報委員長足立 璋光

平成 26 年 9 月

発行年月